

NEWS & RELEASE

本件に関する問い合わせ先
(株)ザイマックス不動産総合研究所
TEL:03-3596-1477 FAX:03-3596-1478
info-rei@xymax.co.jp

オフィス賃貸マーケット指標 2015年第2四半期 (空室率、新規成約賃料インデックス、成約賃料DI、フリーレント)

～マーケットは全体的に好調が続くも、慎重なオーナー心理を反映し新規成約賃料の上昇は緩やか～

ザイマックス不動産総合研究所は、オフィス賃貸マーケットの動向を示す指標である「空室率」、「新規成約賃料インデックス」、「成約賃料 DI」、「フリーレント付与率・平均フリーレント月数」の 2015 年第2四半期の結果を発表する。以下に、東京 23 区のオフィス賃貸マーケットの概況を示す。

マーケットの概況

東京 23 区オフィス賃貸マーケットは、企業における事業拡大、人員増を受けた堅調なオフィス需要、および限定的な新規供給を背景に、引き続き緩やかに回復している。人気のエリアでの空室在庫は逼迫しつつあるが、オーナーの値上げに対する慎重な姿勢もあり、マーケット全体としては、新規成約賃料は緩やかな上昇傾向にある。

各指標の動向（東京 23 区）

- ・空室率は 5.27%。前期と比べ 0.35 ポイント下降。12 四半期連続の下降。一部人気エリアでは空室在庫が逼迫しつつある。
- ・新規賃料の水準を示す新規成約賃料インデックスは 93（2010 年第 1 四半期を 100 として）。マーケット全体でみると、前期と比べ 1 ポイントの上昇。
- ・賃料上昇物件と下落物件の数を比較した成約賃料 DIは +11。賃料が下落した物件が減少した一方で、賃料水準を変化させなかった物件が増えたことによる。
- ・平均フリーレント月数は 2.8 か月。前期と比べ 0.1 か月の増加。フリーレントを付与する割合は微増したが、10 か月、12 か月といった特に長期間付与するケースが見られなくなった。

※次ページ以降に各指標の結果について解説

※「6. 各指標の概要」に、各指標について整理した表を掲載

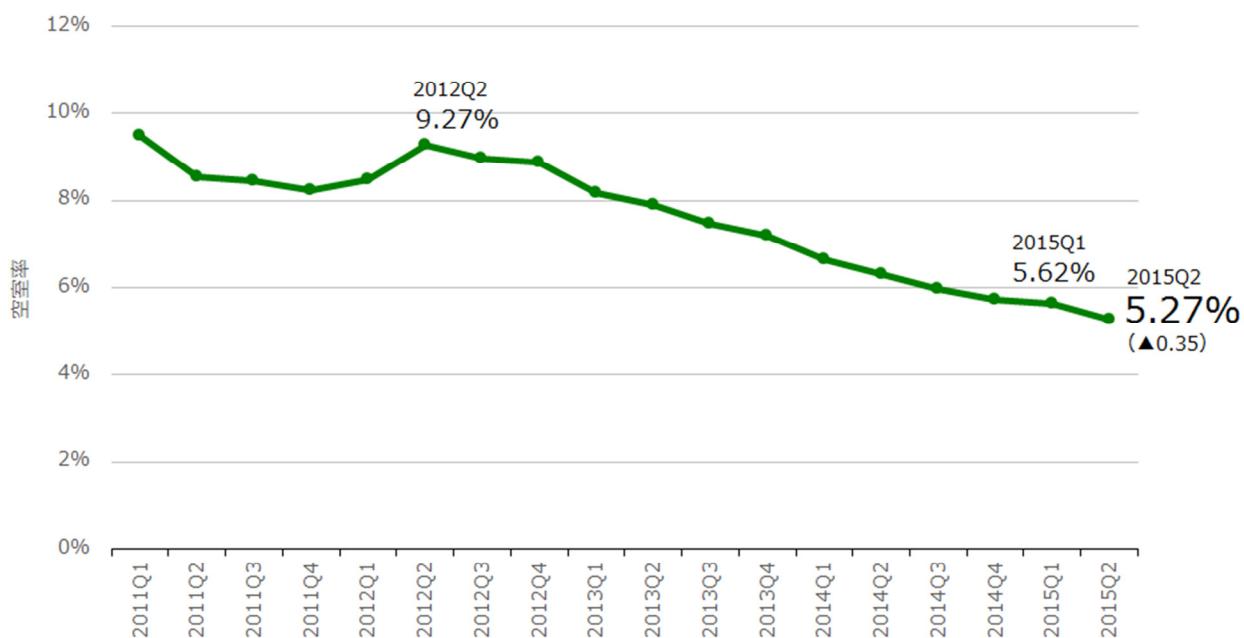
※「7. 全期間の数値データ」に、過去からの四半期ごとの数値データを掲載

1. 空室率

図表1は、直近4年間の東京23区の空室率の推移を示したものである。2015年第2四半期は5.27%、前期5.62%から0.35ポイント下降し、12四半期連続の下降となった。

企業における事業拡大や人員増の動きを受け、床需要が引き続き堅調であり、新規供給が限定的であることもあわせ、全体的に需給が引き締まっている状態である。特に、人気のある千代田区の大規模物件や渋谷区では空室在庫が逼迫してきている。

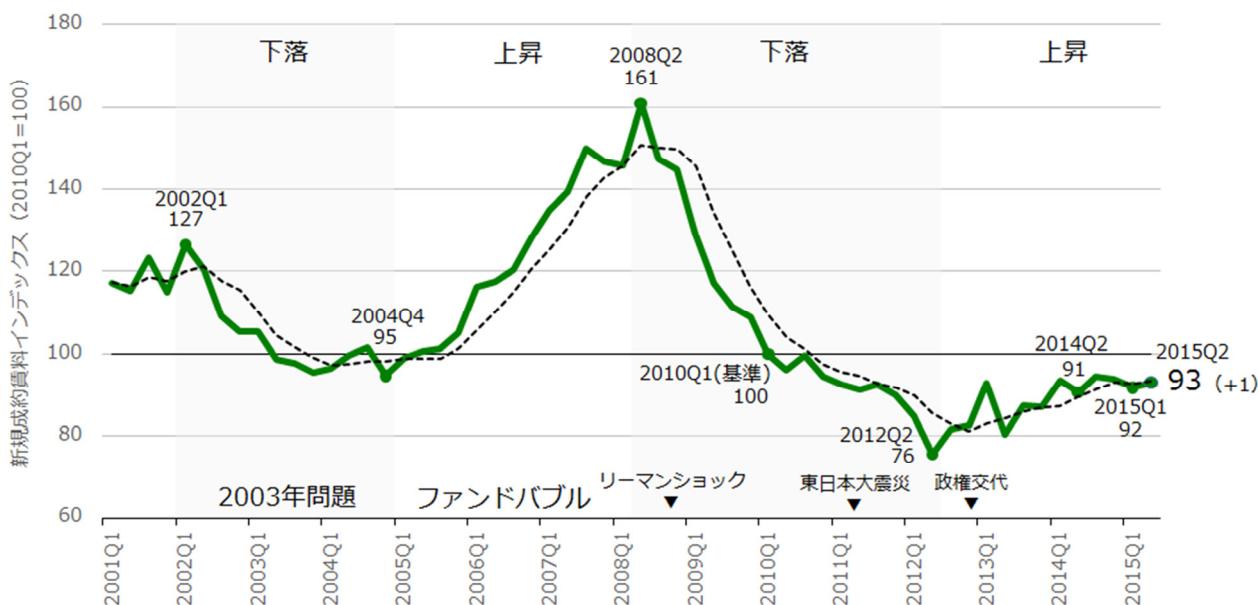
図表1 空室率（東京23区）



2. 新規成約賃料インデックス

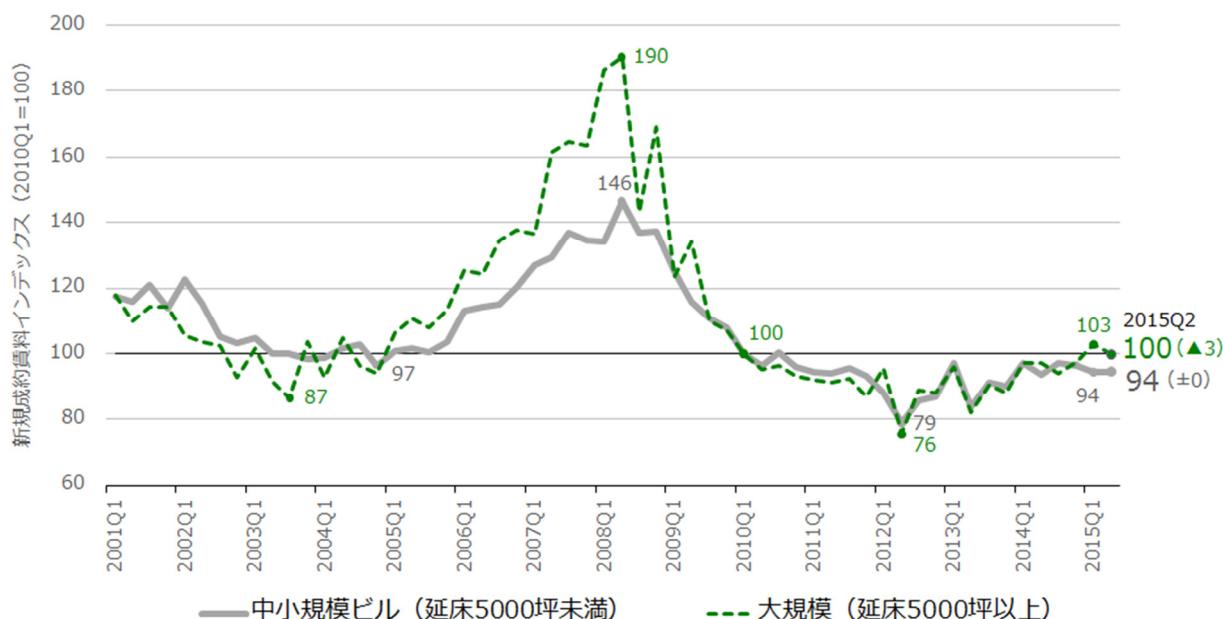
図表2は、新規成約賃料インデックスの推移を示したものである。2015年第2四半期は93、前期92と比べ1ポイント上昇、前年同期91と比べ2ポイント上昇となった。空室の需給は引き締まっている一方で、新規成約賃料の上昇傾向は緩やかな状況にある。

図表2 新規成約賃料インデックス（東京23区） ※点線は移動平均（過去4四半期）



図表3は規模別の新規成約賃料インデックスの推移を示している。延床面積5,000坪未満の中小規模物件では94と、前期と比べ変動がなかった一方で、延床面積5,000坪以上の大規模物件では100と、前期と比べ3ポイント下落している。

図表3 規模別新規成約賃料インデックス（東京23区）



※当リース記載の内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。

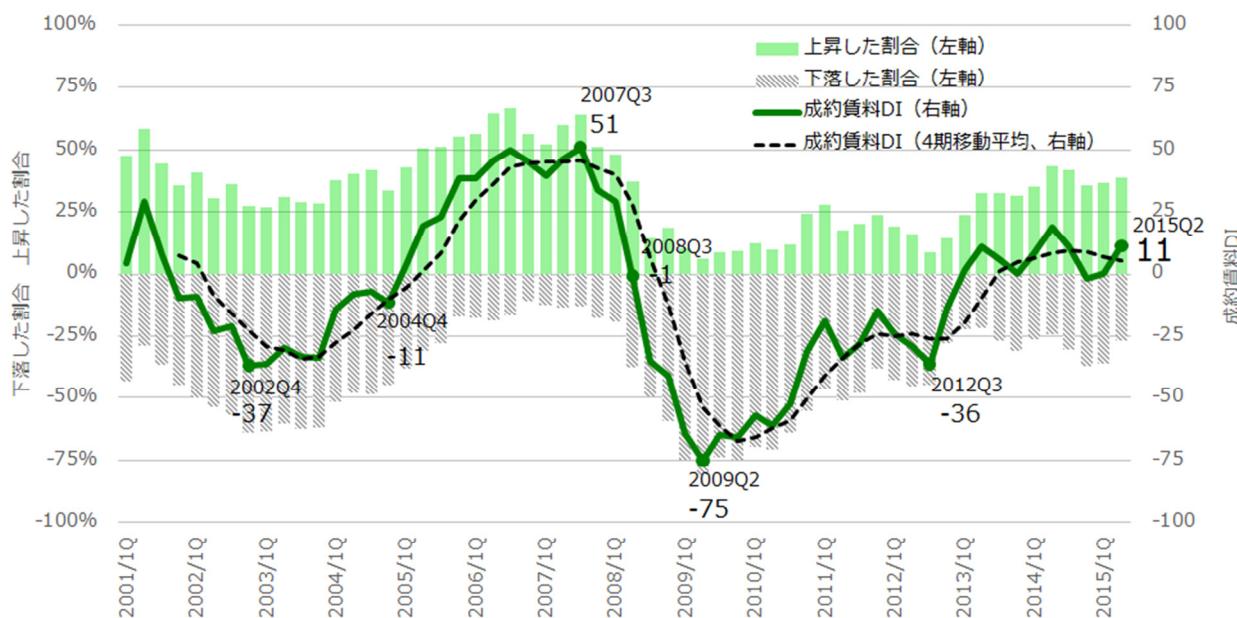
当社の事前の了承なく、複製、引用、転送、配布、転載等を行わないようお願いします。Copyright©XYMAX corporation. All rights reserved

3. 成約賃料DI

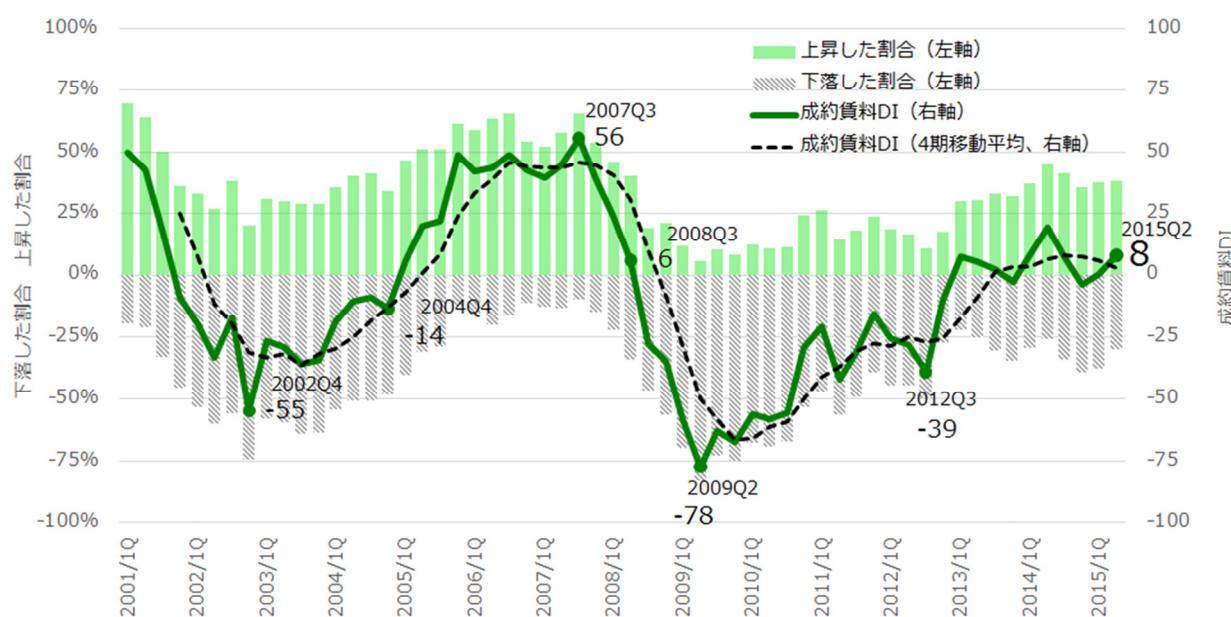
図表4、図表5は、成約賃料DI（東京23区、都心3区）の推移である。2015年第2四半期は、東京23区で「+11」、都心3区で「+8」と、上昇した物件が下落した物件より多かった。前期（2015年第1四半期）の「±0」（東京23区）、「±0」（都心3区）から上昇した。

好調なマーケットを受け、賃料が下落した物件が減少する一方で、上昇させた物件は大きく増加しておらず、変化がなかった物件が増加している。賃料水準を上昇させることに対して慎重な不動産オーナーの姿勢がうかがえる。

図表4 成約賃料DI（東京23区）



図表5 成約賃料DI（都心3区）



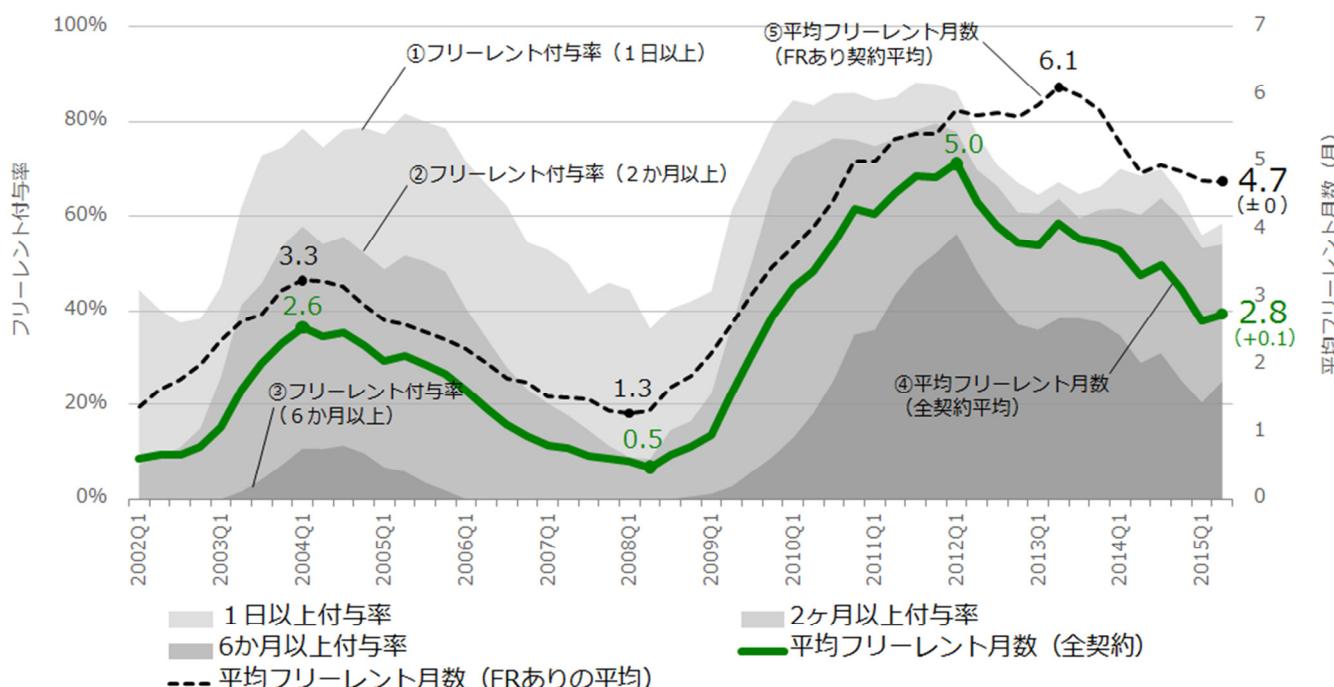
4. フリーレント

図表6は、新規契約のうちフリーレントを付与した割合（付与率）と、フリーレント期間の平均値（平均フリーレント月数）の推移を表したものである。

2015年第2四半期のフリーレント付与率は、①1日以上58.5%（前期と比べ2.5ポイント増加）、②2か月以上54.0%（同0.8ポイント増加）、③6か月以上25.0%（同4.6ポイント増加）と、いずれの区分においてもやや増加している。平均フリーレント月数は、④全契約平均は2.8か月（同0.1か月増加）とわずかに増加し、⑤フリーレントあり契約平均は4.7か月と前期と比べ変動がなかった。

2014年第3四半期以来、3四半期ぶりにフリーレント付与率は増加したものの、10か月を超えるような特に長いフリーレントを付与するケースが見られなくなってきており、付与される平均月数はほぼ横ばいで推移している。

図表6 新規契約におけるフリーレントの推移（東京23区）



		2012Q2	2013Q2	2014Q2	2014Q3	2014Q4	2015Q1	2015Q2
フリーレント 付与率	① 1日以上	77.5%	67.2%	70.0%	64.5%	70.0%	56.0%	58.5%
	② 2か月以上	69.8%	63.6%	63.8%	59.7%	63.8%	53.2%	54.0%
	③ 6か月以上	48.4%	38.4%	31.0%	25.1%	31.0%	20.4%	25.0%
平均フリーレント 月数	④ 全契約	4.4	4.1	3.5	3.1	3.5	2.7	2.8
	⑤ FRあり契約	5.7	6.1	5.0	4.8	5.0	4.7	4.7

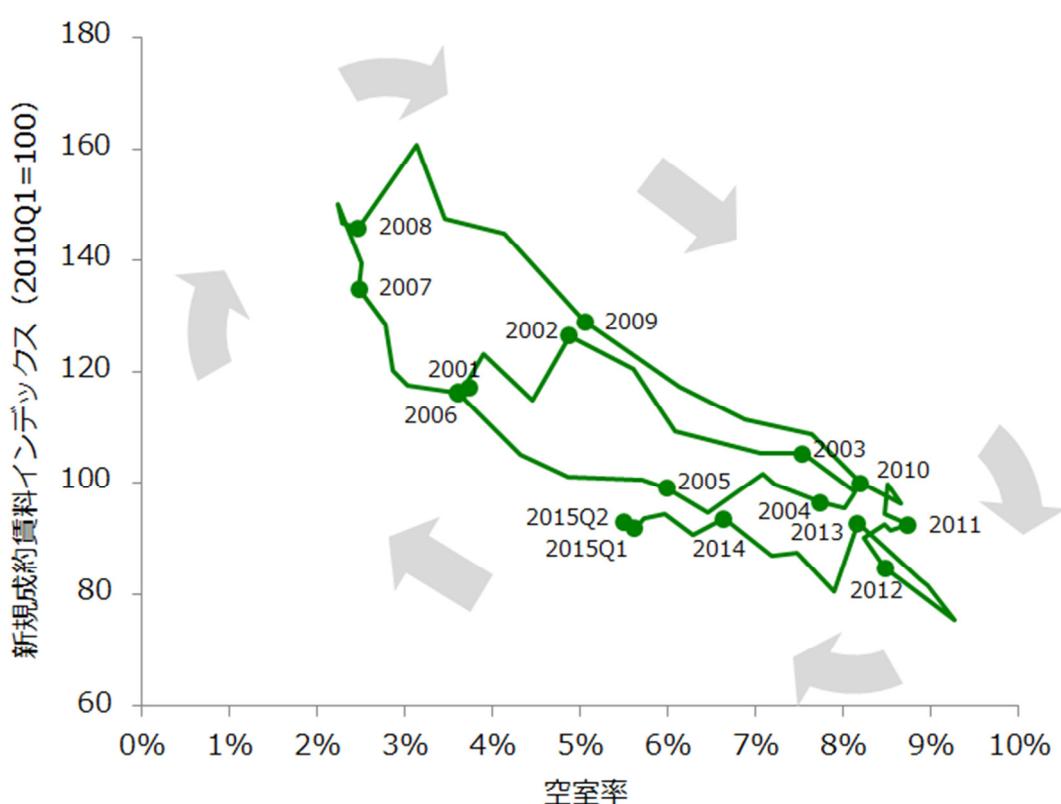
5. マーケットの循環から見る現在の位置

図表7は、横軸に空室率、縦軸に新規成約賃料インデックスをとて、四半期ごとにプロットしたものである。

図上では、2001年以降右下方向（空室率上昇・賃料下落）に移動し、2003年から2004年の停滞期を経て、2005年以降左上方向（空室率低下・賃料上昇）へ移動し、2008年以降再び右下（空室率上昇・賃料下落）方向へ移動、とマーケットが循環しながら推移する様子が観察できる。

2015年現在オフィス賃貸マーケットは、2010年以降の停滞を脱し、2005年から2006年ほどのスピード感はないものの、空室率が低下し、賃料が緩やかに上昇する回復期に移行していることがわかる。

図表7 オフィス賃貸マーケットの循環（東京23区）



出所) ザイマックス不動産総合研究所（2011年3月以前の空室率は大手賃貸仲介会社のデータをもとに計算したものを探る）

6. 各指標の概要

	空室率	新規成約賃料 インデックス	成約賃料 DI	フリーレント付与率 ・平均月数
概要	マーケットにおける賃貸面積のうち空室面積の占める割合	延床面積や築年数など賃料に影響を与える要因を統計的手法により品質調整した、成約賃料に基づくオフィス賃料指標	成約賃料が上昇した物件と下落した物件の数を比べることで、成約賃料の変動を示す指標	契約開始日と賃料発生日のタイムラグの分布状況と平均
意味・意義	マーケットの需要と供給のバランス	成約賃料の水準	成約賃料の変動の方向性	成約賃料単価には表れないマーケットの状況
用途	オフィスビル	オフィスビル	オフィスビル	オフィスビル
地域	東京 23 区	東京 23 区	東京 23 区/3 区	東京 23 区
規模	全規模	全規模/大規模（延床 5,000 坪以上）/中小規模（延床 5,000 坪未満）	全規模	全規模
公表頻度	四半期	四半期	四半期	四半期
期間	2011 年第 1 四半期から	2001 年第 1 四半期から	2001 年第 1 四半期から	2002 年第 1 四半期から
データ元	ザイマックスが独自に収集した空室募集区画と物件データ	ザイマックスが独自に収集した成約ベースの賃料（共益費込）	ザイマックスが独自に収集した成約ベースの賃料（共益費込）	ザイマックス受託物件における成約データ
直近四半期の使用データ数	27,002 棟	1,320 件	1,001 件	200 件
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・空室率 = 空室面積 ÷ 賃貸面積 ・空室面積： 調査時点において、竣工済物件で募集集中空室区画の面積の合計 ・賃貸面積： 調査時点において、竣工済の物件の賃貸対象となる面積 <p>※賃貸面積が公表されていない物件は、京都大学大学院工学研究科建築学専攻加藤直樹研究室との共同研究結果から導き出された計算式を使用し、延床面積より推計</p>	<p>① 収集した成約データを基に、立地・延床面積・築年数・設備・成約時点などを変数とした、成約賃料を説明する「接続型ヘドニックモデル（重複推定期間 = 5 四半期）」を構築。</p> <p>② ①で構築したモデルに、標準的なビルの属性値を代入することで、四半期ごとの成約賃料を推定。</p> <p>③ ②で推定した成約賃料の、基準時点（2010 年第 1 四半期）を 100 としたときの値を、新規成約賃料インデックスとしている。</p> <p>※これにより、立地・規模・築年数・設備など各変数の影響を調整した、成約賃料の時間的変化を表すことができる。</p>	<p>①ビルごとに半年前の成約賃料単価と比較し、「上昇」「据置」「下落」についてそれぞれ棟数をカウント。</p> <p>② ①から「上昇」の割合、「下落」の割合を計算。</p> <p>③ ②で求めた「上昇」の割合から「下落」の割合を引いた数値を成約賃料 DI（ディフュージョン・インデックス）としている。</p>	<p>・フリーレント期間： 契約開始日と賃料発生日の間の日数</p> <p>・フリーレント付与率： 新規契約（館内拡張・再契約などを除く新規入居契約）のうち、賃料免除期間のある契約の割合</p> <p>・平均フリーレント月数（全契約）： 賃料免除期間がないものも含む、すべての契約におけるその期間の単純平均</p> <p>・平均フリーレント月数（FRあり契約）： 賃料免除期間があるものにおけるその期間の単純平均</p> <p>※ 共益費込賃料を設定した上で、一定期間、賃料を共益費相当額あるいはそれに近い額に減額する措置を取っている契約もあるが、これらは本調査に含まれない。</p>

※各指標の詳細は、以下リンク参照

成約賃料 DI

http://www.xymax.co.jp/news/pdf/2013_12_02.pdf

新規成約賃料インデックス

http://www.xymax.co.jp/news/release/2014_09_19_04.html

フリーレント

http://www.xymax.co.jp/news/release/2014_09_19_03.html

各指標間の関係

http://www.xymax.co.jp/news/release/2014_10_31.html

7. 全期間の数値データ

空室率	新規成約賃料インデックス			成約賃料DI		フリーレント				
	全体	大規模	中小規模	東京23区	都心3区	1日以上付与率	2か月以上付与率	6か月以上付与率	すべての契約平均月数	FRのある契約平均月数
2001Q1	-	117	118	118	4	50	-	-	-	-
2001Q2	-	115	110	116	29	43	-	-	-	-
2001Q3	-	123	114	121	7	17	-	-	-	-
2001Q4	-	115	114	114	-10	-9	-	-	-	-
2002Q1	-	127	106	123	-9	-20	44.4%	7.4%	0.0%	0.6
2002Q2	-	120	103	115	-23	-33	40.4%	8.8%	0.0%	0.7
2002Q3	-	109	102	105	-21	-17	37.5%	10.9%	0.0%	0.7
2002Q4	-	105	93	103	-37	-55	38.3%	15.0%	0.0%	0.8
2003Q1	-	105	101	105	-37	-27	45.2%	25.8%	0.0%	1.1
2003Q2	-	99	92	100	-29	-29	61.9%	41.3%	1.6%	1.6
2003Q3	-	98	87	100	-33	-36	72.9%	45.8%	4.2%	2.0
2003Q4	-	96	104	98	-34	-34	74.5%	53.6%	7.3%	2.3
2004Q1	-	97	93	99	-14	-19	78.5%	57.9%	10.7%	2.6
2004Q2	-	100	105	102	-8	-10	74.6%	54.1%	10.7%	2.4
2004Q3	-	102	96	103	-7	-9	78.3%	55.7%	11.3%	2.5
2004Q4	-	95	94	97	-11	-14	78.8%	52.2%	9.7%	2.3
2005Q1	-	99	106	101	4	6	77.3%	48.7%	6.7%	2.1
2005Q2	-	101	111	101	19	20	81.7%	51.7%	5.8%	2.1
2005Q3	-	101	108	101	23	22	80.0%	50.4%	3.5%	2.0
2005Q4	-	105	113	104	38	49	78.6%	48.2%	1.8%	1.9
2006Q1	-	116	125	113	38	42	71.6%	40.5%	0.0%	1.6
2006Q2	-	118	124	114	46	43	66.7%	34.1%	0.0%	1.3
2006Q3	-	120	135	115	50	49	62.2%	27.9%	0.0%	1.1
2006Q4	-	129	138	120	45	43	54.5%	23.2%	0.0%	0.9
2007Q1	-	135	137	127	40	39	52.9%	20.2%	0.0%	0.8
2007Q2	-	139	161	129	46	44	50.0%	17.6%	0.0%	0.8
2007Q3	-	150	165	137	51	56	43.6%	14.5%	0.0%	0.6
2007Q4	-	147	164	134	34	39	46.0%	11.3%	0.0%	0.6
2008Q1	-	146	187	134	29	24	44.4%	8.9%	0.0%	0.6
2008Q2	-	161	190	146	-1	6	36.2%	8.6%	0.0%	0.5
2008Q3	-	148	143	137	-35	-28	40.4%	14.6%	0.0%	0.7
2008Q4	-	145	169	137	-41	-35	42.0%	16.5%	0.5%	0.8
2009Q1	-	129	124	125	-64	-58	44.1%	22.3%	1.1%	0.9
2009Q2	-	117	134	116	-75	-78	61.4%	37.0%	2.6%	1.6
2009Q3	-	111	110	111	-65	-62	70.2%	50.5%	5.9%	2.1
2009Q4	-	109	107	108	-66	-67	79.4%	65.6%	9.0%	2.7
2010Q1	-	100	100	100	-57	-56	84.5%	72.5%	13.0%	3.2
2010Q2	-	96	95	96	-61	-58	83.4%	74.3%	18.2%	3.4
2010Q3	-	100	96	100	-52	-56	85.9%	76.5%	25.3%	3.8
2010Q4	-	94	93	96	-31	-29	86.0%	76.2%	34.9%	4.3
2011Q1	9.50%	93	92	94	-19	-21	84.4%	74.9%	35.9%	4.2
2011Q2	8.55%	91	91	94	-34	-42	85.1%	76.4%	43.5%	4.5
2011Q3	8.46%	93	93	96	-28	-31	88.2%	78.2%	48.8%	4.8
2011Q4	8.22%	90	87	93	-15	-16	87.9%	79.6%	52.2%	4.8
2012Q1	8.47%	85	96	88	-24	-26	86.2%	77.8%	56.3%	5.0
2012Q2	9.27%	76	76	79	-29	-28	77.5%	69.8%	48.4%	4.4
2012Q3	8.96%	82	89	86	-36	-39	70.7%	66.3%	42.0%	4.1
2012Q4	8.88%	83	88	87	-14	-10	67.0%	60.8%	37.1%	3.8
2013Q1	8.16%	93	96	97	2	8	64.5%	60.6%	36.0%	3.8
2013Q2	7.89%	81	82	84	11	5	67.2%	63.6%	38.4%	4.1
2013Q3	7.47%	87	90	91	6	3	64.6%	59.6%	38.4%	3.9
2013Q4	7.18%	87	88	90	0	-3	66.1%	61.4%	37.6%	3.8
2014Q1	6.63%	94	97	97	9	8	69.9%	61.7%	34.7%	3.7
2014Q2	6.29%	91	97	94	19	19	68.6%	60.3%	28.9%	3.3
2014Q3	5.95%	94	94	97	11	8	70.0%	63.8%	31.0%	3.5
2014Q4	5.73%	94	98	97	-2	-4	64.5%	59.7%	25.1%	3.1
2015Q1	5.62%	92	103	94	0	0	56.0%	53.2%	20.4%	2.7
2015Q2	5.27%	93	100	94	11	8	58.5%	54.0%	25.0%	2.8

以上

※当リース記載の内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではありません。

当社の事前の了承なく、複製、引用、転送、配布、転載等を行わないようお願いします。Copyright©XYMAX corporation. All rights reserved